研究課題名

「ICUに入室した敗血症症例におけるquick SOFA scoreと予後の関連に関する研究」

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（承認番号　H28中倫小第14号）

調査研究実施についてのお知らせ

　ICUでは、ICUに入室した敗血症症例におけるquick SOFA scoreと予後の関連に関する研究を実施しております。

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　平成 28年 7月 11日

【研究課題名】

「ICUに入室した敗血症症例におけるquick SOFA scoreと予後の関連に関する研究」

【研究期間】

2005年から2016年7月まで

【調査対象】

敗血症と診断されICUに入室した症例

【研究目的・意義】

2016年、ICU外発症の敗血症を感染症＋quick SOFA 2項目以上(呼吸数22回、意識障害、収縮期血圧 100以下)とする新定義が発表された。1．敗血症の新定義であるquick SOFAは簡素化されており、死亡につながる敗血症の一部を抽出できない可能性がある。当院ICUに入室した敗血症症例をquick SOFA基準の有無で2郡に分け、死亡率を比較する。

2．臨床医による敗血症診断とq SOFAによる敗血症診断の一致率を調べる。

【研究の方法】

検討項目をカルテビューにより記述する。

検討項目：年齢、性別、診断名、入室前病棟、ICU在日数、入院日数、院内死亡、HR、sBP、mBP、RR、体温、GCS、カテコラミン投与量(DOA,DOB,NAD)、人工呼吸器の有無、腎代替療法の有無、24時間尿量、DNR状況、血液ガス、緊急手術の有無、慢性疾患の有無(腎不全、悪性リンパ腫、肝硬変、白血病、転移性癌、AIDS、免疫抑制剤)、培養結果、なお、本研究の結果は日本集中治療学会総会、米国集中治療学会での公表を予定している。

【個人情報の取扱い】

個人識別情報であるカルテ番号、氏名、生年月日を削除し研究対象者識別コードを用いて連結可能匿名化を行う。情報管理者は主任研究者とする。データは、情報管理者により暗号化された状態で保存され、個人情報の漏洩防止に十分配慮を行う。

【研究機関】

沖縄県立中部病院　沖縄県うるま市宮里281

【本研究に関する問い合わせ先】

内科　集中治療部　中山　泉　内線2330